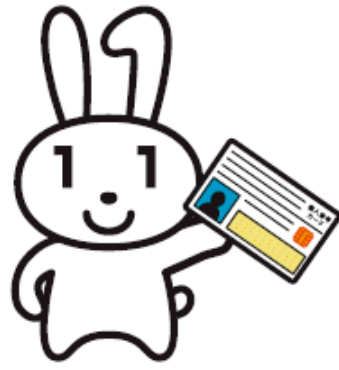


へは訪問等を行っているが、来年度は、県内所有者にも訪問を検討している。その他に所有者へアンケート調査を実施する予定である。



◎ 社会保障・税番号制度事業費566万4000円、マイナンバーカード交付促進における取り組みは。

Ⓐ 社会保障番号制度事業費の内容は、マイナンバーカード交付に関わる会計年度任用職員の手当と、休日申請サービスや窓口での申請サポートに必要な消耗品費となり全額国库補助の対象経費である。マイナンバーカード交付促進の今後の取り組みに

ついては、引き続き補助金を利用して、本庁市民課窓口と小笠市民課窓口でカード作成に必要な顔写真の無料撮影サービスと申請補助サービスを行っていく。交付促進に繋げるためには、市民がカード申請しやすい、受け取りやすい体制を整える必要がある。

◎ ごみの出し方動画作成委託料67万8000円、ごみ減量の取り組みは。

Ⓐ ごみ減量施策は、令和4年度から3年間を市民と行政と事業者が力を合わせてさらなるごみ減量に取り組み期間と位置づけ、さらなるごみ減量とリサイクルの推進を進めていくこととなる。ごみの出し方動画は、SNSを利用し分かりやすい情報発信を進めていくことの一環として作成するものであり、新型コロナウイルス感染のリスク減少に繋がるものとなるため、国の新型コロナウイルス感染症対



応地方創生臨時交付金を充当して作成する。動画は、出前行政講座の教材として30分程度を想定し、外国人向けの外国語バージョンも作成予定である。作成した動画は、自治会等に貸し出し、自治会の会議や班長会等での活用を想定している。項目ごと5分位の動画に分けたものをSNSにあげる予定である。

◎ 図書購入の方針は。また、小笠図書館の外国人用の書籍や視聴覚資料の購入は。

Ⓐ 両館で重なるものや高額な本の購入を控えている。今後は、一般書・児童書等購入する予定であるが、児童書が全体の25%以上になるように心掛けている。

また、外国人用の書籍は、小笠図書館において令和元年度15冊、令和2年度50冊購入し、資料の言語は、英語、ポルトガル語、スペイン語、中国語、フランス語、ベトナム語等である。日本で著名な作家や世界的なベストセラーの翻訳本、料理本や実用書など、多種多様にわたる選書となるように購入している。視聴覚資料購入は、全て日本語の音声のものだが、映画のDVD等は多言語で視聴できるものもある。



外国人用の書籍